

病院と同じ敷地・隣接地に施設がある場合、地域に病院がある場合、地域に病院がない場合で比較すれば、同じ敷地・隣接地にある施設と地域に病院がない施設で、「あった」とする割合が高い。病院と近ければ近いで、何かあればあったで「あそこの施設は」、なければならないで「もしかするとあそこの施設が」といった類のことになるのかもしれない。

施設利用者に対するいちばんの問題は、老人の一人暮らしと精神障害者はアパートを借りられないという現実が見えることにある。地域は施設や利用者へ直接物を言わないまでも、じっと取り巻いて見ているのである。ここに地域偏見・差別が如実に現れている。とすれば、施設職員や精神障害利用者の挨拶を無視する14（3.3%）というのうなずける。さすがに、障害をもっている、又障害者であることを理由に、町会等から排除される、地域の祭りやイベントの参加を拒否される、商店への立入が制限される、通行禁止・通行時間が制限される、と回答したのは5施設（1.2%）にとどまっている。

ことは多いか少ないかではなく、偏見・差別が現実に「ある」ことに注意しなければならないのである。そうした意味で、公共施設の利用が制限されると回答した施設が10施設（2.3%）あったことは大きな問題である。公共施設は市民の誰もが利用できるものである。しかもそれらを運営する国をはじめ自治体こそは、精神保健及び精神障害者の正しい知識や理解の普及、精神障害者の社会復帰の支援に義務を負っているのである。これこそ数ある偏見・差別のなかで最も厳しい偏見・差別というものであることを指摘しておかなければならない。

10)施設が変わる、地域が変わる

いま精神障害者への社会的支援は、精神障害関連施設も含めて地域へと舞台を移しつつある。それは精神障害関連施設と地域という構図ではとらえきれない。精神医療・精神障害関連施設・自治体・企業・市民と、そして主役である当事者らの相互連携こそが実践的な課題となっている。こうしたなかにあって精神障害関連施設においても

種々のことが試みられている。そのひとつが施設に設けられる「福祉サービスに関する委員会」又はこれに類する体制である。そこにはもちろん地域に関する課題への対処も含まれる。しかし、こうした委員会等を設置しているのは、427施設のうち195施設（45.7%）にすぎなかった。さらにそのなかで、地域の代表者を委員として参加しているのは112施設（57.4%）にすぎない。最近のノーマライゼーションの理念のなかで、すでに地域のなかに蓄積されてきた知的障害者、高齢者、身体障害者等の活動から教示を受け、又、精神医療、精神障害関連施設の積極的な取り組みの成果を地域に移し換え広げていくためにも、こうした委員会の設置についても地域に開かれた姿勢が強く意識されるべきところである。

D 結論

精神障害関連施設（生活訓練施設、授産施設、福祉ホーム等々）は精神保健福祉法成立の平成7年以降、とりわけ一部改正の平成11年以後は従来に比べて倍、倍々増になってきている。その過程で、精神医療施設の34%に比べて低いとはいえ2割（20.1%）もの施設が何らかの反対にぶつかり支障を抱えている。

これらの施設は住宅地に開設されることが多く、当然、住民と精神障害関連施設の利用者とが交差する機会が多くなる。しかしながら、それは住民と精神障害者との本当の出会いという類のものではない。住民には、遠くから精神障害者を眺めているだけでは精神障害者のことはわからない。そこに偏見・差別が生じていても不思議ではないと思われる。ここに精神医療施設調査と同様に、精神障害者は事件・迷惑を引き起こすのではないかという漠然とした偏見・差別を見ることができるといふ現実につながっている。

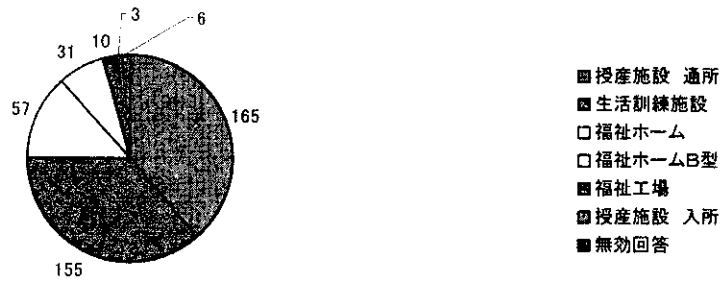
利用者である精神障害者の社会的な生活スキルの問題もあるが、施設としても日頃から地域にどのような、どれだけのアプローチがなされているか、又支援者としてのスタンスではなく住民の側

の認識としてどのように住民の反対を理解し、施設開設・トラブル・苦情・地域偏見の悪循環をどのような方法で良循環に変えていくかという問題でもある。施設に対する反対にしても、町会長や地域の有力者の協力、行政・病院・他施設の協力という伝統的ともいう手法を駆使しても20.1%の施設が反対の憂き目にあっているのでは、手法の見直しが必要といえよう。ここでも施設や精神障害利用者への理解は普及してきているが、住民はどちらかといえば施設や精神障害利用者を遠くから取り巻いて見ており、それが偏見・差別につながっていることが明らかになった。これら数量的な結果を踏まえてさらに、施設と住民との関係づくり、そこで起こった問題、それらへの対処についての経験を事例的、実証的に積み重ねていく必要があると思われる。うまくいった例、うまくいかなかった例、はじめは住民とうまくいかなかったが次第に住民の信頼を得た例など、なかでも「うまくいった例」「はじめは難儀でも次第に住民との関係がつくられていった例」を事例的に採取することによって、より具体的に地域における精神障害関連施設に対する偏見とその除去に関する有効なアプローチ方法を見つけることができるであろう。このアンケート調査、精神医療施設に関する調査にもとづいて事例的研究を続ける必要があると思われる。

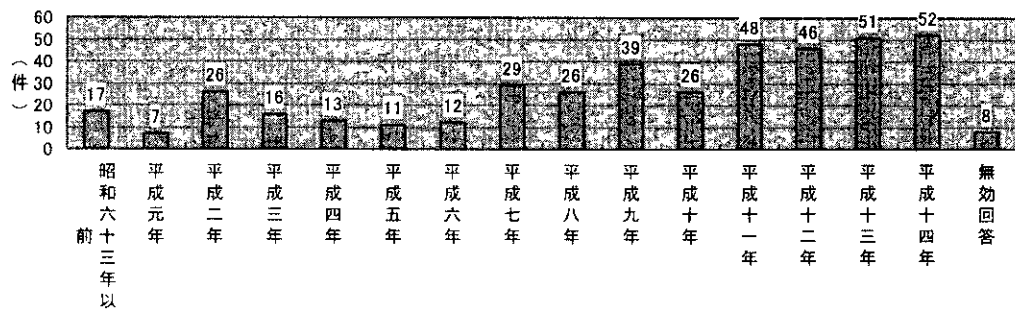
研究協力者

永長昌之 青森大学社会学部社会福祉学科
藤林正雄 青森大学社会学部社会福祉学科
船木昭夫 青森大学社会学部社会福祉学科
藤島稔弘 青森大学社会学部社会福祉学科
高橋和幸 青森大学社会学部社会福祉学科

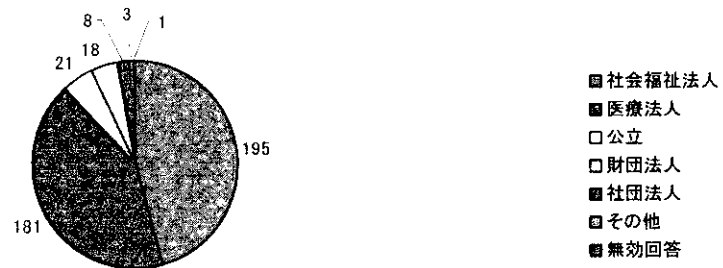
問1 施設(種別)



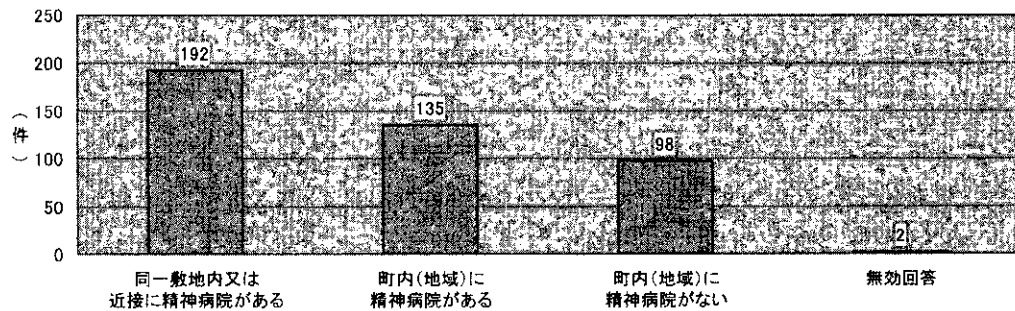
問2 開設年

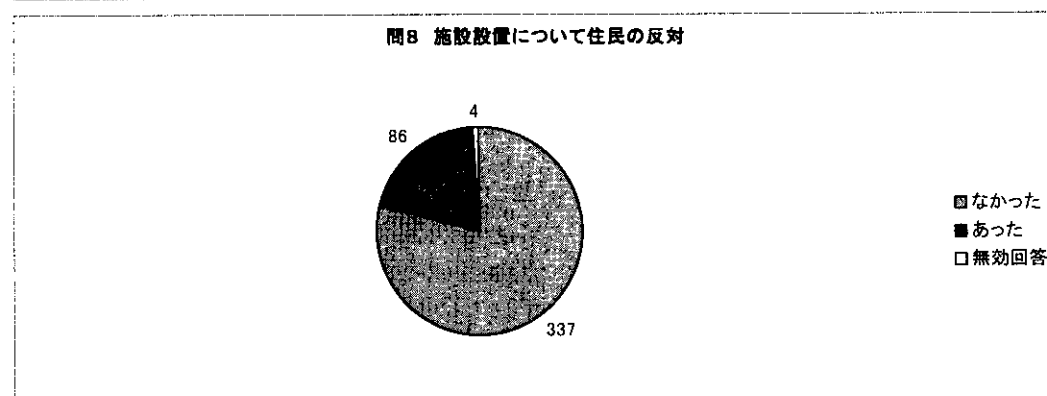
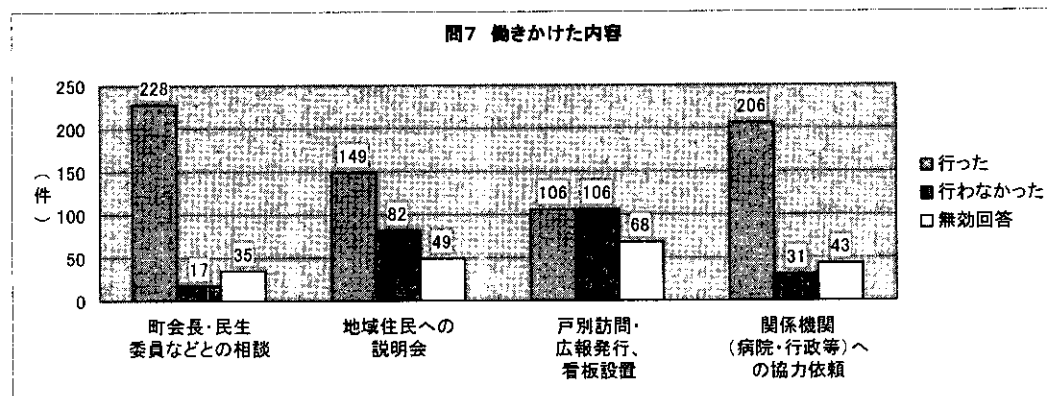
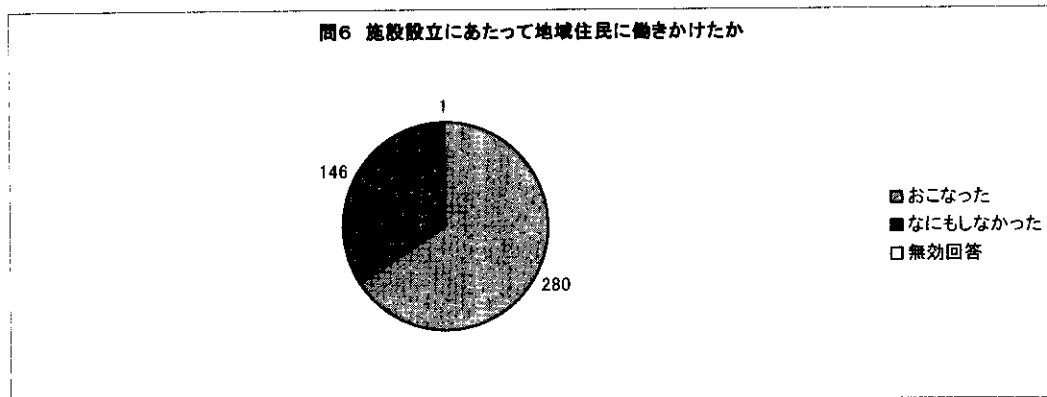
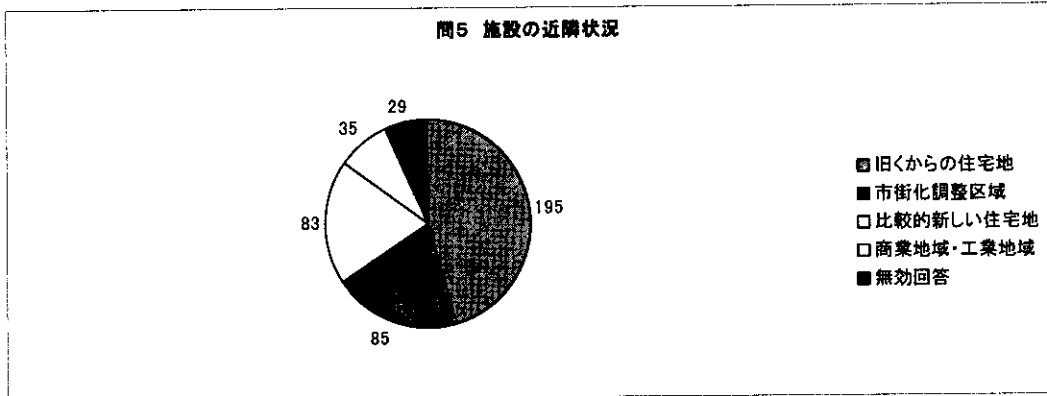


問3 設置主体

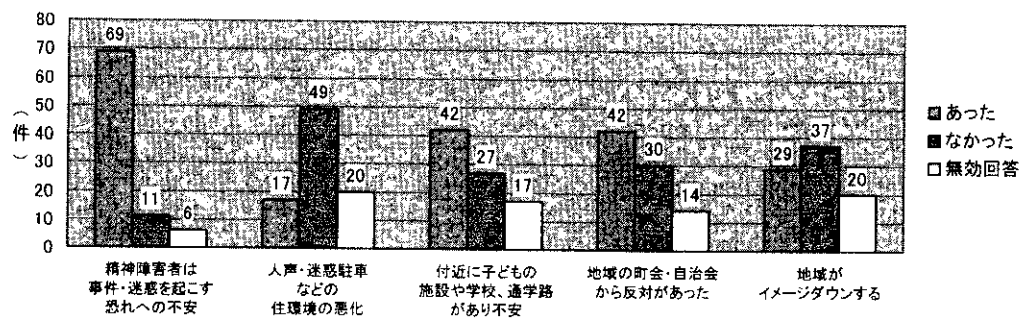


問4 施設の近くに病院(精神科)はあるか





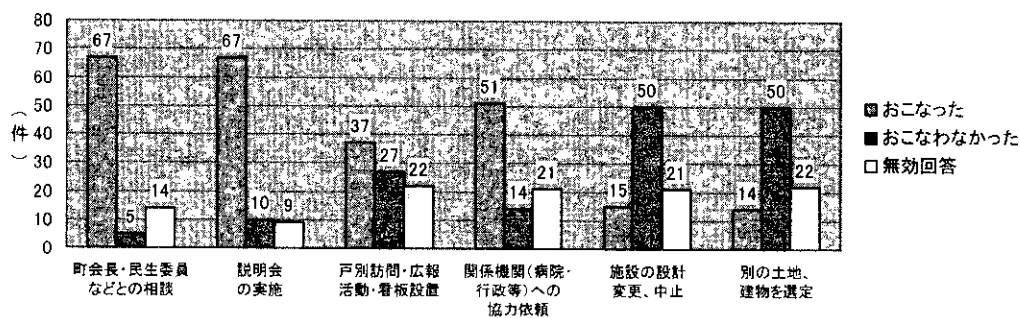
問9 反対理由



問10 反対に対応した人



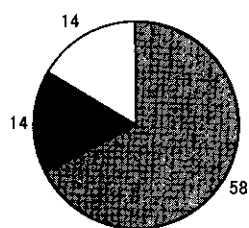
問11 住民の反対に対しての対応



問12-A 反対への対処(毅然とした態度の必要性)

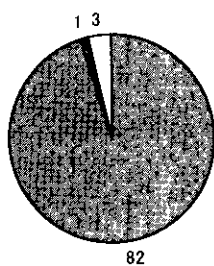


問12-B 反対への対処(性急に解決しようとする)



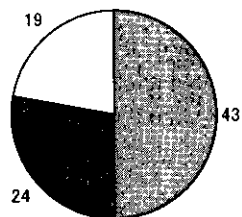
大切だと思う
 大切とは思わない
 無効回答

問12-C 反対への対処(謙虚に耳を傾ける態度)



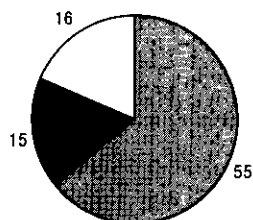
大切だと思う
 大切とは思わない
 無効回答

問12-D 反対への対処(不本意でも取引が必要)



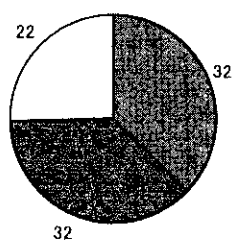
大切とは思わない
 大切だと思う
 無効回答

問12-E 反対への対処(地元有力者に協力してもらおう)



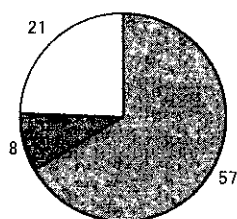
大切だと思う
 大切とは思わない
 無効回答

問12-F 反対への対処(まず行政が対応すべきである)



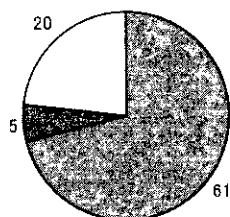
大切だと思う
 大切とは思わない
 無効回答

問12-G 反対への対処(反対は反対としても建設すべきである)



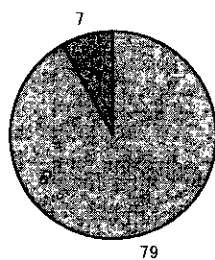
大切とは思わない
 大切だと思う
 無効回答

問12-H 反対への対処(反対があるときは地域に知られないようにする)



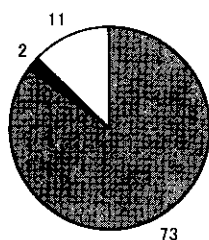
大切とは思わない
 大切だと思う
 無効回答

問12-I 反対への対処(地域との人間関係をつくる工夫をする)



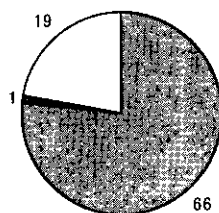
大切だと思う
 無効回答

問12-J 反対への対処(行政・他施設・ボランティア・家族会等との協力)



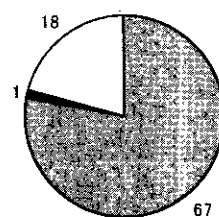
大切だと思う
 大切とは思わない
 無効回答

問12-K 反対への対処(反対には調停・裁判で争う方がいい)



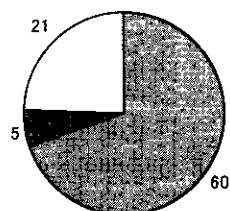
大切とは思わない
 大切だと思う
 無効回答

問12-L 反対への対処(住民の勝手な意見なので無視する)



大切とは思わない
 大切だと思う
 無効回答

問12-M 反対への対処(反対運動があれば諦める)



大切とは思わない
 大切だと思う
 無効回答

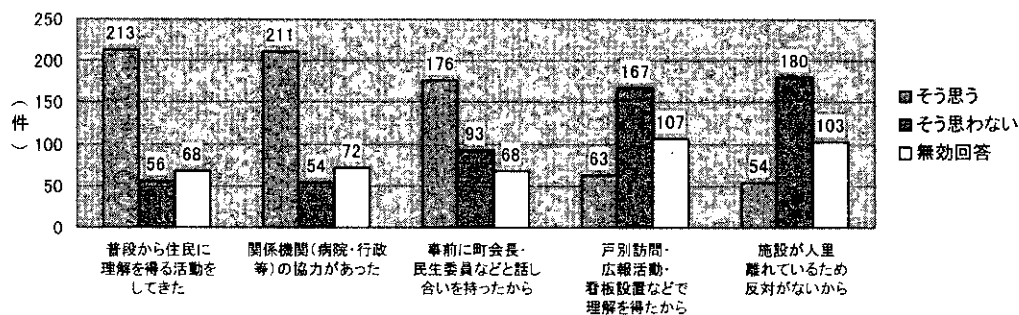
問12-N 反対への対処(マスコミ等を活用して障害者を理解してもらう)



問12-O 反対への対処(住民理解に役立つ施設見学や学習活動等をする)



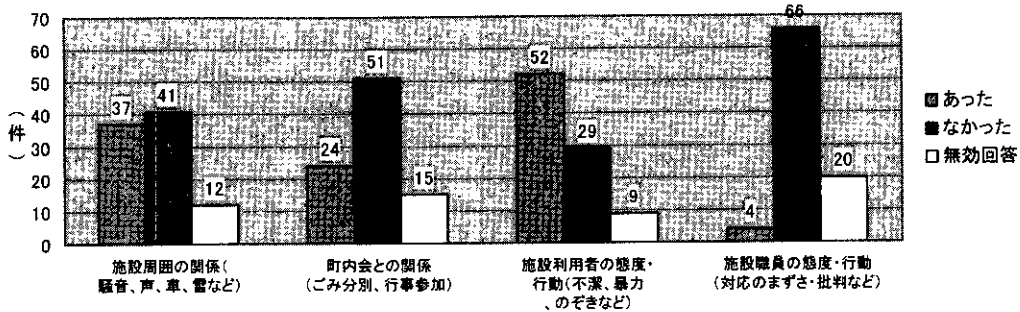
問13 地域住民の反対が無かった理由



問14 施設開所後、今までに住民とのトラブル・苦情の発生



問15 住民とのトラブル・苦情はどのようなことか



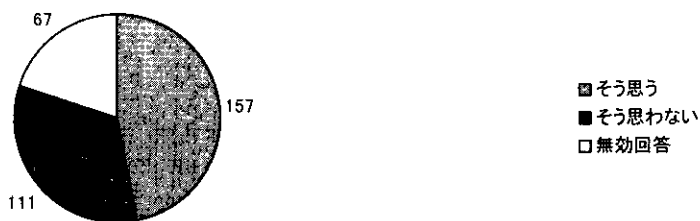
問16-A 住民とのトラブル・苦情が発生しない理由(住民が施設と利用者を良く理解している)



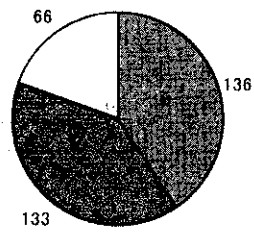
問16-B 住民とのトラブル・苦情が発生しない理由(住民が施設や利用者に関係しないようにしている)



問16-C 住民とのトラブル・苦情が発生しない理由(職員に指導を徹底している)

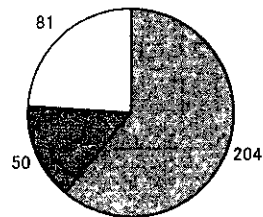


問16-D トラブル・苦情が発生しない理由(トラブル・苦情が発生しないよう利用者に指導を徹底している)



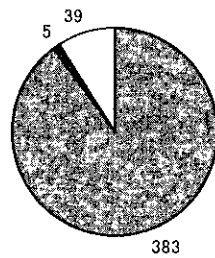
■ そう思わない
■ そう思う
□ 無効回答

問16-E 住民とのトラブル・苦情が発生しない理由(施設が人里から離れているため)



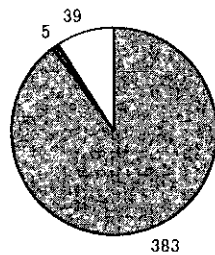
■ そう思わない
■ そう思う
□ 無効回答

問17-A 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(商店への立入り制限)



■ なかった
■ あった
□ 無効回答

問17-B 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(通行の禁止・通行時間の制限)



■ なかった
■ あった
□ 無効回答

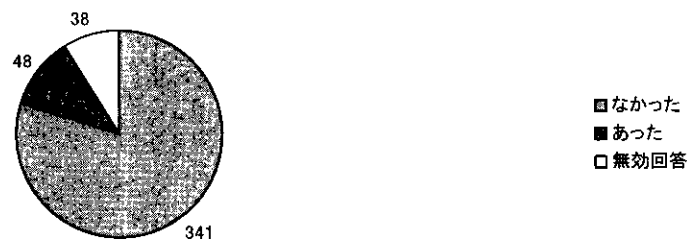
問17-C 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(公共施設の利用制限)



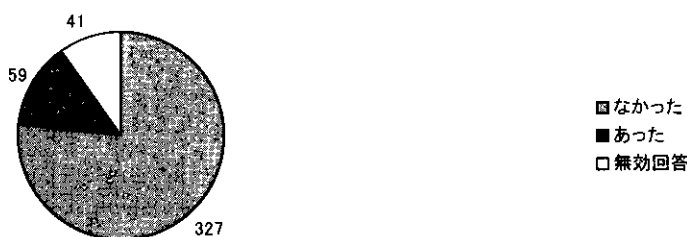
問17-D 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(地域のイベント・祭りへの参加制限)



問17-E 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(施設や利用者への悪口や悪意の噂)



問17-F 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(何かあると施設や利用者が疑われる)



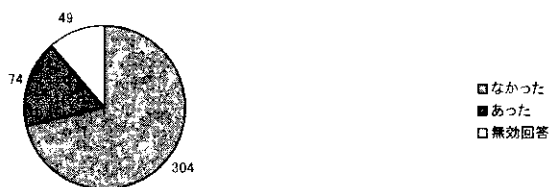
問17-G 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(職員や利用者が挨拶しても無視する)



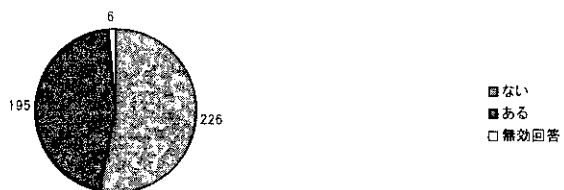
問17-H 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(障害者を理由に町会等の地域組織からの排除)



問17-I 差別や偏見と思われる行為を受けたことがあるか(地域ではアパートや家を借りられない)



問18 施設には「福祉サービスに関する委員会」又はこれに類する体制はあるか



問19 施設の「福祉サービスに関する委員会」等には、地域の代表が参加しているか



q1	件数	q2-y	件数	q3	件数
授産施設 通所	165	昭和六十三年以前	17	社会福祉法人	195
生活訓練施設	155	平成元年	7	医療法人	181
福祉ホーム	57	平成二年	26	公立	21
福祉ホームB型	31	平成三年	16	財団法人	18
福祉工場	10	平成四年	13	社団法人	8
授産施設 入所	3	平成五年	11	その他	3
無効回答	6	平成六年	12	無効回答	1
件数計	427	平成七年	29	件数計	427
		平成八年	26		
		平成九年	39		
		平成十年	26		
		平成十一年	48		
		平成十二年	46		
		平成十三年	51		
		平成十四年	52		
		無効回答	8		
		総計	427		

q4	件数	q5	件数	q6	件数
同一敷地内又は 近接に精神病院がある	192	旧くからの住宅地	195	おこなった	280
町内(地域)に 精神病院がある	135	市街化調整区域	85	なにもしなかった	146
町内(地域)に 精神病院がない	98	比較的新しい住宅地	83	無効回答	1
無効回答	2	商業地域・工業地域	35	件数計	427
件数計	427	無効回答	29		
		件数計	427		

q7	町会長・民生 委員などとの相談	地域住民への 説明会	戸別訪問・ 広報紙発行、 看板設置	関係機関 (病院・行政等)へ の協力依頼
行った	228	149	106	206
行わなかった	17	82	106	31
無効回答	35	49	68	43
件数計	280	280	280	280

q8	件数
なかった	337
あった	86
無効回答	4
件数計	427

q8	精神障害者は 事件・差額を起す 恐れへの不安	人声・送迎騒音 などの 住環境の悪化	付近に子どもの 施設や学校、遊学団 があり不安	地域の町会・自治会 から反対があった	地場が イメージダウン する
あった	69	17	42	42	29
なかった	11	49	27	30	37
無効回答	6	20	17	14	20
件数計	86	86	86	86	86

q10	件数
その他	18
設立施設の施設長・事務長	14
法人の代表者	8
関連病院の院長・事務長	5
設立施設の指導員等職員	4
無効回答	37
件数計	86

q11	町会長・民生委員 などの相談	説明会 の実施	戸別訪問・広報 活動・看板設置	関係機関(病院・ 行政等)への 協力依頼	施設の設計 変更、中止	別の土地、 建物を選定
おこなった	67	67	37	51	15	14
おこなわなかった	5	10	27	14	50	50
無効回答	14	9	22	21	21	22
件数計	86	86	86	86	86	86

q12-a	件数	q12-b	件数	q12-c	件数	q12-d	件数
大切だと思う	51	大切だと思う	58	大切だと思う	82	大切とは思わない	43
大切とは思わない	14	大切とは思わない	14	大切とは思わない	1	大切だと思う	24
無効回答	21	無効回答	14	無効回答	3	無効回答	19
件数計	86	件数計	86	件数計	86	件数計	86

q12-e	件数	q12-f	件数	q12-g	件数	q12-h	件数
大切だと思う	55	大切だと思う	32	大切とは思わない	57	大切とは思わない	61
大切とは思わない	15	大切とは思わない	32	大切だと思う	8	大切だと思う	5
無効回答	16	無効回答	22	無効回答	21	無効回答	20
件数計	86	件数計	86	件数計	86	件数計	86

q12-j	件数	q12-j	件数	q12-k	件数	q12-l	件数
大切だと思う	79	大切だと思う	73	大切とは思わない	66	大切とは思わない	67
無効回答	7	大切とは思わない	2	大切だと思う	1	大切だと思う	1
件数計	86	無効回答	11	無効回答	19	無効回答	18
		件数計	86	件数計	86	件数計	86

q12-m	件数	q12-n	件数	q12-o	件数
大切とは思わない	60	大切だと思う	49	大切だと思う	75
大切だと思う	5	大切とは思わない	16	大切とは思わない	3
無効回答	21	無効回答	21	無効回答	8
件数計	86	件数計	86	件数計	86

q13	書簡から住民に理解を得る活動をしてきた	関係機関(病院・行政等)の協力があつた	事前に町会長・民生委員などと話し合いを持ったから	戸別訪問・広報活動・看板設置などで理解を得たから	施設が人員を配れているため反対がないから
そう思う	213	211	176	63	54
そう思わない	56	54	93	167	180
無効回答	68	72	68	107	103
件数計	337	337	337	337	337

q14	件数
ない	335
ある	90
無効回答	2
件数計	427

q15	施設周囲の環境(騒音、臭、車、雪など)	町内会との関係(ごみ分別、行事参加)	施設利用者の態度・行動(不潔、暴力のぞきなど)	施設職員の態度・行動(対応のまずさ・批判など)
あつた	37	24	52	4
なかった	41	51	29	66
無効回答	12	15	9	20
件数計	90	90	90	90

q16-a	件数	q16-b	件数	q16-c	件数	q16-d	件数	q16-e	件数
そう思う	203	そう思わない	218	そう思う	157	そう思わない	136	そう思わない	204
そう思わない	86	そう思う	39	そう思わない	111	そう思う	133	そう思う	50
無効回答	46	無効回答	78	無効回答	67	無効回答	66	無効回答	81
件数計	335	件数計	335	件数計	335	件数計	335	件数計	335

q17-a	件数	q17-b	件数	q17-c	件数	q17-d	件数	q17-e	件数
なかった	383	なかった	383	なかった	376	なかった	382	なかった	341
あった	5	あった	5	あった	10	あった	5	あった	48
無効回答	39	無効回答	39	無効回答	41	無効回答	40	無効回答	38
件数計	427	件数計	427	件数計	427	件数計	427	件数計	427

q17-f	件数	q17-g	件数	q17-h	件数	q17-i	件数
なかった	327	なかった	372	なかった	378	なかった	304
あった	59	あった	14	あった	8	あった	74
無効回答	41	無効回答	41	無効回答	41	無効回答	49
件数計	427	件数計	427	件数計	427	件数計	427

q18	件数	q19	件数
ない	226	参加している	112
ある	195	参加していない	81
無効回答	6	無効回答	2
件数計	427	件数計	195